

令和2年度第3回鎌ヶ谷市総合基本計画審議会 会議録

日 時	令和2年10月30日（金）14時～14時35分
場 所	鎌ヶ谷市総合福祉保健センター6階 大会議室
出席委員	宮脇淳委員、菅野勝利委員、徳田訓康委員、篠田繁委員、 御代川泰久委員、竹内久子委員、野田正治委員、奥村さかえ委員、 榎本美紅委員、山下裕委員、田中泰委員、熊谷貴宏委員、 吉田誠委員、山中広和委員
欠席委員	北原理雄委員、井手勝則委員、山崎明委員
市出席者	笠井総務企画部長、渡邊市民生活部長、菅井健康福祉部長、 萩原都市建設部次長、狩谷生涯学習部長、松本消防本部長、 大塚総務企画部次長
関係所属長	次第2に関連する所属長
事務局	小笠原企画財政課長、小暮主査補、古田主査補
オブザーバー	株式会社富士通総研（若生、鬼澤）
記 録	小暮
傍 聴 者	1名

1 会議録署名人の選出について

審議会委員名簿の中から、会長及び副会長を除いた順番として、田中委員及び吉田委員に決定した。

2 鎌ヶ谷市総合基本計画（案）について

（1）第2回会議における委員からの意見に係る市の考え

（事務局）

資料1及び2に基づき、説明。

（会長）

ただ今の説明を聞いて、何かご意見、ご質問があれば伺う。

～ 特に意見なし ～

3 鎌ヶ谷市総合基本計画（案）の答申について

（会長）

これまでの2回の会議で、委員の皆様から多くのご意見をいただき、市も可能な限り、計画に反映していただいた。

ここで、市から示された総合基本計画（案）について、審議会から提出する答申の方向性をまとめ、市長へ答申をしたいが、皆様いかがか。

(G委員)

先日、国会で菅首相が所信表明演説の中で、国の温室効果ガスを2050年までにゼロにすると発言していた。

基本計画(案)では、施策の状態指標「市域内温室効果ガス排出量」及び施策の柱の成果指標「市の業務による温室効果ガス排出量」を削減する目標を掲げているが、この目標値では2050年のゼロを達成するのは難しいのではないかと考える。

この課題が残ってしまったが、いかがか。

(会長)

これについては、私から考え方を説明する。

政府の所信表明演説は、方向性を示すものであり、政治的姿勢が非常に強い。

今の段階で、国から具体的な実施計画やこれに基づく予算措置が示されているのであれば、市として検討の余地があるが、現状では、首相が発言されただけであることから、地方自治体で受け止めるには、具体的な内容ではないと考える。

ただし、来年度以降、国からの予算措置や具体的な話が来た場合は、市もスピード感を持って進めていく必要があり、その時は基本計画の修正などが必要となると考える。

本日の話は、会議録にも残していくので、市もこのことを踏まえて進めていただければと思う。

(D委員)

審議会の意見を真摯に受け止めていただき、とても良い基本計画が出来てきたと考える。私は、生涯学習審議会の会長をやっているので、この市の方針を受けて、第4次生涯学習推進基本計画を完成することが出来ると考えている。

この計画も市民に見やすい計画とするよう、2年かけて策定してきたので、機会があれば、ご覧いただければと思う。

(会長)

委員からご紹介がありました計画については、完成しましたら、皆様に情報共有できるように、手配していただければと思う。

ここで議論した内容について、今後事業を行っていく中でどのような形で結び付いたのが重要となってくることから、適宜情報共有していただければと考える。

(会長)

それでは、確認させていただく。

鎌ヶ谷市総合基本計画(案)については、審議会での意見に基づき修正を行った上で、「内容は妥当である」と認めたいと考えるが、異議ないか。

(一同)

異議なし。

(会長)

ありがとうございます。

なお、市長への答申書の文言については、私に一任していただければと思う。

4 その他

(会長)

市から報告事項があればお願いしたい。

(事務局)

総合基本計画（案）に係るパブリックコメントの結果について、報告する。

パブリックコメントは、令和2年9月29日から10月28日まで実施し、16名の方から40件の意見をいただいた。

主な意見を紹介するが、放課後児童クラブについて、保育園と同様に充実していただきたい、また、保育園の待機児童ゼロを引き続き継続していただきたいなど、子育てに関する意見を多数いただいている。

また、市の道路が狭いので拡張していただきたい、下水道の普及を早めていただきたい、公園でボールを遊べるようにしていただきたいなどの意見をいただいている。

これら意見については、基本計画に係る内容ではないことから、実施計画の策定や予算編成の中で、参考とさせていただきたいと考えている。

なお、このパブリックコメントについては、今後市の意見を付けて、市のホームページで公表していくが、委員の皆様にも情報共有を図るため、その結果を送付させていただく。

(会長)

パブリックコメントの内容については、事務事業ベースの内容となっていることから、実施計画などを策定する中で対応を検討いただき、その結果を委員に情報共有していただきたい。

本審議会での審議は、ここで終了となるが、最後に言い忘れたことや基本計画の内容とは異なるため、発言を控えていたなどあれば、お願いしたい。

(N委員)

市政全般のICT化について、弱いのではないかと感じている。

先日の会議でもSNSを活用した情報発信について、他の市で実施しているが、出来ていないとの指摘があった。ITの知識や技術に成熟している人や取組みが見えないが、市は今後どのように取組んでいくのか。

国もデジタル化を進めており、今の状態では置いていかれるのではと危惧している。

これから人材育成も含めて、強化していく必要があるのではないかと考える。

(総務企画部長)

市のIT関係の状況であるが、市では情報推進室を設けており、プロジェクトマネージャーとして、現役時代、電算関係の業務に勤めた方を採用している。この方から、知識を職員へ教えるなどして、取り組んでいる。

また、以前市の財政状況が悪化したことを踏まえ、かなり前から行財政改革を推進しており、他の市で実施している行財政改革の取組みは市でも実施している。

その中で、今後は、AI化して人件費を削減していく事が重要となってくると考えており、今年度、企画政策室でAI-OCRの導入を実験的に実施している。

また、生涯学習部では、国のGIGAスクール構想に基づき、生徒一人ひとりに端末を設置しており、庁内、教育施設など全体的に、国のICT化に遅れないようにするために、鋭意努力している。

基本構想の中にも、ICT化の推進は明記していることから、今後市でもICT化を進めていきたいと考える。

(L委員)

3点ほど、所感を述べたい。

一点目は、市の魅力について、柏、松戸、船橋、市川と比べ、鎌ヶ谷が良いなと思うところは何かははっきりしていない。梨と言うならば市川や船橋も同様であり、鎌ヶ谷市だけの特徴ではないことを考えると、消去法で日本ハムファイターズくらいしかなく、長期的に鎌ヶ谷の良いところを打ち出していく必要がある。

二点目は、大きな市に囲まれた、比較的小さな市であり、他市に依存しているところもあるので、周辺市との協働を意識した方が良い。その方が、効率的に業務を回していけるのではないかと感じる。

例えば、待機児童ゼロであることを活かし、他の市で預け先がなく困っている人を受け入れることができれば、他市の待機児童ゼロにも貢献することができ、他市との協働に繋がるのではないかと思う。

三点目は、公助についてである。最初から公助に全て委ねるとお金が足りなく、キリが無いので、市民の力を引き出すよう、市民協働を進めていけると良い。

市の実施することは、最終的に市の税金で賄っているもので、何でも公助ではなく、自助でやってもらうところは、はっきり市民に伝えていけると良い。

(D委員)

一点目であるが、市のイメージとして、市民意識調査では、「歴史・伝統のある街」が1位となっている。

市には鎌ヶ谷大仏や神社などはあるが、これと言って特徴があるわけでもない。重要度の表を見ると、祭りや伝統行事が重要度で一番低く、矛盾していると感じる。

住みよい街と思っているが、イメージがぼんやりしていることから、そのあたりを今後意識して、取り組んでいくと良い。

二点目として、児童相談所についてであるが、現在は市川にある相談所に行っているかと思う。

親の虐待や不登校などの問題もこれからあると思うが、市で児童相談所が設置出来ないのか。

(健康福祉部長)

児童虐待については、児童相談所は県で設置することとなっており、中核市はそれぞれの市が設置することが可能となっている。

県の答申では、鎌ヶ谷と松戸地区の相談件数が伸びていることを踏まえ、県の施設として増設する地区に選ばれている。これを受け、県が場所の選定や実施方法を検討し、準備していると聞いている。

また、市でも、こども総合相談室を組織しており、社会福祉士、保健師、心理相談員などの専門職を配置し、日頃の親からの相談や虐待の連絡があれば、職員が様子を確認し、市川の児童相談所と連携し、対応にあたっている。

さらに、市役所の中で子ども支援に関係する所属とも連携を図りながら、話し合いを進め、対応しているところである。

(D委員)

今後も、連携をして、対応していただきたい。

(会長)

それでは、最後に総務企画部長から委員の皆様に挨拶があるとのことなので、お願いしたい。

(総務企画部長)

御礼の挨拶を述べる。

(会長)

それでは、他に意見が無ければ、本日の会議はこれで終了させていただく。

以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和2年12月7日

氏名

田中 泰

氏名

吉田 誠
